



Be prepared 備える

校長 田邊 雅也

夏休みまであと1ヶ月を切りました。昨今の頃は、分散登校が終わり、新しい生活様式の中での通常授業でした。学校は子供がいてこそ潤い、子供の学びを止めないことの大切さを痛感しました。それから「令和の日本型学校教育」「GIGAスクール構想」を受け、令和3年度から朝霞市全小中学校でiPadが導入され、教職員は子供たちと授業改善に全力を注いでいます。

しかし、新型コロナウイルスもアルファ株からデルタ株・デルタプラスへと変異しています。現在もなお、私たちの生活に大きな影を落とし、世界的にはデルタ株の大流行に備える動きが活発化しています。こうなると、私たちも休校に伴う自宅からのオンライン授業にも備えておかななくてはなりません。

6月21日からの「オンライン授業参観」は、学校と保護者との初めての接続です。初めての取組で戸惑った方もいらっしゃると思いますが、大変多くの方のご参加をいただき、オンラインでつながる準備が整ったのではないのでしょうか。

7月6日から8日は学年ごとの「オンライン授業・オンライン懇談会」です。子供たちが帰宅し、自宅から授業に参加する取組です。教師にとっては、オンライン授業のTry and Errorでもあり、懸念されるデルタ株大流行でも「学びを止めない」訓練という意味もあります。お子さん自身がつながることは当然ですが、自宅という環境であっても、学びに集中できるかどうかの体験もできると思います。ぜひご協力をお願いいたします。皆で備えておきましょう。Be prepared! です。

学びに向かう力・学びを止めない

「学びに向かう力」は保護者の皆様と共有したい考え方です。デルタ株の脅威にさらされても、学びの質と量を確保していくための根幹となる考え方です。

オンラインで学校と保護者が連絡することにはTryとErrorがつきものです。試行錯誤の中でChange(変化)をし、子供たちの「学びに向かう力」を皆で育てているというHappy(幸福感)を共有しながら、子供たちの学びを止めないようお願いします。

同時に「個別最適な学び」(※1)の実現を目指します。6月号の巻頭言で書かせていただいた「きもちのTECH(※2)」で子供たちの「学びに向かう力」を保護者の皆様と共に育てていきましょう。

○個別最適な学び (こべつさいてきなまなび) (※1)

教育界の用語ではありますが、子供たちの将来に向けた「学びに向かう力」を育むための大切な考え方です。「指導の個別化」と「学習の個性化」の2つの視点があります。

●指導の個別化

…自分の課題を知り、自分から選んだり、自分にぴったりの学びを進めたりする子供の姿を実現する。

●学習の個性化

…自分のこだわりを持つ領域を深く学び、自分の個性をさらに磨き、将来を見据える子供の姿を実現する。

「個別最適な学び」で「学びに向かう力」が身に付きます。試行錯誤、紆余曲折を経験しながら、日本の将来を切り拓く「人財」へと自分から育てていきます。

(※2) 6月号「テクノロジーのTECH」と「きもちのTECH」参照 T…Try E…Error C…Change H…Happy

引き続き、限定公開YouTubeやFacebook(6月開設)でも子供たちの真剣な学び、教職員の奮闘ぶり、これからの学びの考え方などを発信していきます。ぜひ、Facebookをフォローし、本校の教育活動を確認して頂けたら幸いです。

